平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名　穴吹興産株式会社　　上場取引所　大
コード番号　8928　URL　http://www.anabuki.ne.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 穴吹　忠嗣
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 冨岡　徹也　TEL 087-822-3567

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日　配当支払開始予定日　平成24年3月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	19,089	△2.7	△56	—	△273	—	△293	—
23年6月期第2四半期	19,611	3.7	△1,059	—	△1,357	—	△1,033	—

(注)包括利益　24年6月期第2四半期　△286百万円　(—%)　23年6月期第2四半期　△1,011百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	△11.00	—
23年6月期第2四半期	△38.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第2四半期	45,184	7,920	16.8	284.70
23年6月期	41,611	8,311	19.2	299.60

(参考) 自己資本　24年6月期第2四半期　7,592百万円　23年6月期　7,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	2.00	—	4.00	6.00
24年6月期	—	3.00			
24年6月期(予想)			—	4.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,530	△2.7	2,720	12.2	2,040	12.0	1,020	22.0	38.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	28,839,000 株	23年6月期	28,839,000 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	2,170,082 株	23年6月期	2,169,358 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	26,669,001 株	23年6月期2Q	26,669,642 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
４．補足情報 …… 9
販売及び契約の状況 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により景況感が改善している地域、業界もあるものの、欧州政府の債務危機や円高の進行が大企業・製造業の経営に大きな打撃を与えており、注視すべき状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、主力である不動産関連事業において、当社独自のエリアマーケティングのもと、一時的に需給バランスが好転しているスポットエリアでの用地仕入に注力しました。それにより、平成23年９月には「アルファステイツ善光寺下」（長野県長野市）の販売をスタートするなど、既存の事業エリア以外でのマンション開発にも取り組みました。また、シニア事業においては、瀬戸内圏を中心にサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームの開発を強化させており、当社のシニア住宅開設２棟目となる「アルファリビング広島中広」（広島市中区）を平成23年11月に開設したことに加えて、香川県、広島県、岡山県及び愛媛県での新たな施設開設が決定しております。人材サービス関連事業におきましては、人材派遣事業に大きく依存した収益構造をバランスのとれたものへと変えていくため、営業組織を刷新し、アウトソーシング事業や人材紹介事業の強化を図りました。

当第２四半期連結累計期間における売上高は19,089百万円（前年同期比2.7%減）、営業損失56百万円（前年同期は営業損失1,059百万円）、経常損失273百万円（前年同期は経常損失1,357百万円）、四半期純損失293百万円（前年同期は四半期純損失1,033百万円）となりました。営業損失、経常損失及び四半期純損失が発生する主な要因は、新築マンションの引渡による売上計上が第３四半期及び第４四半期連結会計期間に集中するためであります。そのため、当社グループの当第２四半期連結累計期間における売上高進捗率は、平成24年６月期の通期連結業績予想に対し35.0%（前年同期は35.0%）となっておりますが、業績予想における当第２四半期連結累計期間の計画とほぼ同水準で推移しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 不動産関連事業

不動産関連事業におきましては、主力である分譲マンション事業において、税制や住宅ローンの金利優遇など政策面での効果や消費税率アップを見据えた需要等もあって、多くのエリアで販売状況が好調に推移しました。

当第２四半期連結累計期間における新築分譲マンションにつきましては、契約戸数につき1,209戸（前年同期1,250戸）、売上戸数につき518戸（前年同期545戸）となりました。なお、通期の期初計画に対する進捗率につきましては、契約戸数（期初計画2,015戸）につき60.0%（前年同期は49.3%）、売上戸数（期初計画1,695戸）につき30.6%（前年同期は30.8%）となっております。

この結果、不動産関連事業の売上高は13,154百万円（前年同期比3.6%減）、営業損失は202百万円（前年同期は営業損失1,203百万円）となりました。

② 人材サービス関連事業

人材サービス関連事業におきましては、営業強化に注力したアウトソーシング事業に加えて、再就職支援事業が大幅な増収となったものの、派遣売上の減少を補うには至らず、人材サービス関連事業の売上高は2,810百万円（同3.8%減）、営業利益は29百万円（同41.5%減）となりました。

③ 施設運営事業

施設運営事業におきましては、売上高は2,126百万円（同3.4%減）、営業利益は84百万円（同28.2%増）となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、売上高は998百万円（同17.8%増）、営業利益は32百万円（同43.1%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は34,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,224百万円増加いたしました。これは主に仕掛販売用不動産が4,707百万円増加したことによるものであります。固定資産は10,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ347百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が142百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、45,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,572百万円増加いたしました。

(負債)

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は23,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,801百万円増加いたしました。これは主に１年内返済予定の長期借入金が4,048百万円増加したことによるものであります。固定負債は13,348百万円となり、前連結会計年度末に比べ161百万円増加いたしました。これは主に社債が243百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、37,263百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,963百万円増加いたしました。

(純資産)

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は7,920百万円となり、前連結会計年度末に比べ391百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少398百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は16.8%（前連結会計年度末は19.2%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年８月11日の「平成24年６月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,920,172	9,533,410
受取手形及び売掛金	898,873	797,656
販売用不動産	4,260,936	2,804,689
仕掛販売用不動産	14,745,207	19,453,007
その他のたな卸資産	89,198	201,349
繰延税金資産	532,612	737,148
その他	876,324	1,022,164
貸倒引当金	△15,592	△17,485
流動資産合計	31,307,732	34,531,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,356,465	4,499,236
機械装置及び運搬具（純額）	24,648	35,882
土地	3,903,599	4,089,094
建設仮勘定	1,600	2,944
その他（純額）	450,302	460,354
有形固定資産合計	8,736,617	9,087,511
無形固定資産		
のれん	54,000	42,000
その他	96,121	87,660
無形固定資産合計	150,121	129,660
投資その他の資産		
投資有価証券	143,794	93,265
繰延税金資産	425,510	362,302
その他	865,092	992,743
貸倒引当金	△17,010	△13,360
投資その他の資産合計	1,417,387	1,434,951
固定資産合計	10,304,125	10,652,123
資産合計	41,611,858	45,184,063

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,161,469	3,116,024
短期借入金	3,627,000	5,642,000
1年内償還予定の社債	113,400	113,400
1年内返済予定の長期借入金	4,588,043	8,636,262
未払法人税等	973,921	108,788
賞与引当金	381,345	362,943
前受金	3,210,026	4,695,696
その他	2,058,429	1,240,405
流動負債合計	20,113,634	23,915,520
固定負債		
社債	429,900	673,200
長期借入金	11,770,351	11,540,536
退職給付引当金	580,897	611,173
役員退職慰労引当金	73,044	73,044
その他	332,212	450,412
固定負債合計	13,186,405	13,348,367
負債合計	33,300,040	37,263,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	755,794	755,794
資本剰余金	821,283	821,283
利益剰余金	6,864,826	6,466,447
自己株式	△443,935	△444,060
株主資本合計	7,997,968	7,599,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,709	△6,787
その他の包括利益累計額合計	△7,709	△6,787
少数株主持分	321,558	327,498
純資産合計	8,311,817	7,920,175
負債純資産合計	41,611,858	45,184,063

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	19,611,682	19,089,093
売上原価	15,865,524	14,425,913
売上総利益	3,746,158	4,663,180
販売費及び一般管理費	4,805,549	4,719,872
営業損失（△）	△1,059,391	△56,692
営業外収益		
受取利息	3,081	2,467
受取配当金	2,040	11,272
受取手数料	4,479	5,965
保険返戻益	5,040	7,996
償却債権取立益	－	5,820
その他	12,734	17,820
営業外収益合計	27,376	51,343
営業外費用		
支払利息	298,753	250,373
その他	27,178	18,215
営業外費用合計	325,931	268,589
経常損失（△）	△1,357,946	△273,938
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,359	－
債務保証損失引当金戻入額	1,675	－
償却債権取立益	7,403	－
その他	727	64
特別利益合計	11,166	64
特別損失		
固定資産売却損	169,133	－
固定資産除却損	3,966	25,358
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,059	－
ＰＣＢ処理費用	57,700	－
その他	702	272
特別損失合計	248,561	25,631
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,595,342	△299,505
法人税、住民税及び事業税	83,219	129,198
法人税等調整額	△663,631	△141,304
法人税等合計	△580,411	△12,106
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,014,930	△287,399
少数株主利益	18,132	5,939
四半期純損失（△）	△1,033,063	△293,338

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,014,930	△287,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,569	922
その他の包括利益合計	3,569	922
四半期包括利益	△1,011,361	△286,477
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,029,494	△292,416
少数株主に係る四半期包括利益	18,132	5,939

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年７月１日　至　平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	不動産関連事業	人材サービス関連事業	施設運営事業	その他事業	合　計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
外部顧客への売上高	13,643,942	2,920,223	2,200,456	847,061	19,611,682	－	19,611,682
セグメント間の内部売上高又は振替高	70,981	10,560	5,294	129,523	216,359	(216,359)	－
計	13,714,923	2,930,783	2,205,750	976,584	19,828,042	(216,359)	19,611,682
セグメント利益又は損失（△）	△1,203,047	49,861	65,871	22,775	△1,064,539	5,147	△1,059,391

（注）１．調整額は、セグメント間取引の消去であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	不動産関連事業	人材サービス関連事業	施設運営事業	その他事業	合　計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
外部顧客への売上高	13,154,379	2,810,485	2,126,023	998,204	19,089,093	－	19,089,093
セグメント間の内部売上高又は振替高	94,312	9,546	6,560	194,030	304,450	(304,450)	－
計	13,248,692	2,820,032	2,132,584	1,192,235	19,393,544	(304,450)	19,089,093
セグメント利益又は損失（△）	△202,979	29,145	84,432	32,589	△56,812	119	△56,692

（注）１．調整額は、セグメント間取引の消去であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

販売及び契約の状況

当第２四半期連結累計期間の販売（売上）実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）	前年同四半期比（%）
不動産関連事業（千円）	13,154,379	96.4
人材サービス関連事業（千円）	2,810,485	96.2
施設運営事業（千円）	2,126,023	96.6
その他事業（千円）	998,204	117.8
合計（千円）	19,089,093	97.3

（注）１．本表の金額には、消費税は含まれておりません。
２．セグメント間の取引については相殺消去しております。

《不動産関連事業》

マンションの分譲事業における地域別契約戸数は、次のとおりであります。

地域	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）		当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）	
	契約戸数（戸）	割合（%）	契約戸数（戸）	割合（%）
四国	379	30.3	342	28.3
中国	393	31.5	416	34.4
近畿	189	15.1	162	13.4
九州	278	22.2	258	21.3
その他	11	0.9	31	2.6
合計	1,250	100.0	1,209	100.0

《人材サービス関連事業》

人材サービス関連事業の地域別売上高は、次のとおりであります。

地域	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）		当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）	
	売上高（千円）	割合（%）	売上高（千円）	割合（%）
四国	1,551,580	53.1	1,604,066	57.1
中国	490,242	16.8	385,406	13.7
近畿	254,505	8.7	232,036	8.2
中部	145,581	5.0	122,674	4.4
関東	478,312	16.4	466,301	16.6
合計	2,920,223	100.0	2,810,485	100.0

《施設運営事業》

施設運営事業の種類別売上高は、次のとおりであります。

事業の種類	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）		当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）	
	売上高（千円）	割合（％）	売上高（千円）	割合（％）
ホテル事業	932,610	42.4	988,634	46.5
施設運営受託事業	1,157,273	52.6	1,035,236	48.7
ゴルフ事業	110,572	5.0	102,152	4.8
合計	2,200,456	100.0	2,126,023	100.0